



## 鉄筋コンクリートで撞球臺を試作

之にヒントを得て水門扉も鉄筋コンクリートで

雨が降って現場の仕事が出来ない日、遊んである  
労力と余りもの、鉄筋などを集めて、コンクリートの  
撞球臺をつくりました。

撞球臺の主要な部分と云へば盤とそれに張るラシヤ及びクツションのゴムとであることは誰方も御存知の通りです。そうして、盤は撞球臺中最も重要な部分で普通スレート二三枚を並べ、高級の臺になると大理石の一枚板が使はれておます。しかし盤は要するに適当な硬さと理想的な平面とを持ち、なるべく織目のないものがよい譯です。然らば此條件は鉄筋コンクリートでも充分に満足させ得る筈だとの確信をもつて、考案の結果試作したのが上掲寫眞の撞球臺です。ラシヤとクツションのゴムは専門店から買い、他は全部現場の余りもので間に合せました。

盤は可成薄い方が軽くてよいから、周囲だけを特に厚くして木片を埋め、それに外枠の木を締め付ける様にしました。盤の表面はモルタル仕上にして置いて充分硬化してから砥石で磨くとまるで鏡面の様に滑らかになります。茲 最も注意を要するのは広い盤面に捻れの出来ない様に、また出来上つたものを理想的水平に据付けることで、之が極めて肝心なのです。クツションのゴム取付やラシヤ張りには近くの撞球屋のボーイ君で出来る人にやつて貰いました

出来上つたものは玉のころがりも申分ないと専門家から折紙を附けられ、又商品としての製作を相談された程です。

何處の現場でも雨が降つたり雪のひどい日などには職員も常備職工も無抑に苦しむ事があるでせう。此の遣り場のない労力と現場の餘り材料とで、新に購入するとすれば数百圓を要するのを自分達の手でつくると云ふ處に興味が湧き、出来上つたものを一同の娛樂に供し、その結果は若い連中が撞球の稽古をして遙かの盛り場に足を運ぶ事も少くなり、また現場でコンクリートを打つ時も小言を云ふ代りに球突臺の様にやつて呉れと云ふと、云はれる方でも気分を害せず遙かに効果的であつた場合もあり、従業員一同のコンクリートに対する注意を高潮する事に役立つと云ふ具合でした。

この撞球臺を立派に造り上げたことにヒントを得て、鉄筋コンクリート水門扉の如きは一層容易に出来ると思ひ、巾8尺5寸深4尺位の門扉を製作しました。下端には本材を取り付け兩横には砲金板を付けましたが、目方が重いので落ち付きもよく、水密の點でも申分ないものが出来上りました。撞球臺は現在關東水力の取入口堰堤事務室に据付けてありますから御立寄の節御覽を願ひます。 (松山生)